

個別施設計画

【小規模構造物等】

(側溝、擁壁等、法面・斜面)

富山県

小矢部市 建設課

目 次

1. 対象施設

2. 小型構造物と小規模対策工の現状と課題

2.1 管理施設の現状

3. 小型構造物と小規模対策工の維持管理の基本的な考え方

3.1 附属物管理の基本方針

3.2 点検方法・点検頻度

4. 計画期間

5. 対策の優先順位（補修計画の方針）

6. 対策費用

7. 小型構造物と小規模対策工の状態、対策内容、実施時期

7.1 点検結果

7.2 対策内容と実施時期

8. 記録

1. 対象施設

- ・この施設計画の対象は、側溝（排水工）、擁壁等（擁壁工）の小型構造物のほか、法面・斜面（法面工）における小規模対策工を対象とする。

2. 小型構造物と小規模対策工の現状と課題

2.1 管理施設の現状

(1) 管理延長と主な施設数

2021年11月1日現在

道路区分	管理延長 (実延長)	排水工	擁壁工	法面工
1級市道	46 k m	23 箇所	4 箇所	21 箇所
2級市道	52 k m	—	—	—
その他市道	418 k m	—	—	—
計	516 k m			

※上記、主な施設数については、点検を行った箇所のみとする。

※他の附属物（防護柵等）があれば適宜追加する。

3. 小型構造物と小規模対策工の維持管理の基本的な考え方

3.1 附属物管理の基本方針

小型構造物と小規模対策工の個別施設計画の策定にあたっては、点検結果を踏まえた適切な措置を行うことで、第三者への被害を発生させず、安全で合理的な管理を目指す。

3.2 点検方法・点検頻度

小型構造物と小規模対策工

区分	点検方法	点検頻度
排水工	道路土工構造物点検要領（平成29年8月 国土交通省 道路局）による。	巡視の機会を通じた状況把握を基本とする。
擁壁工		
法面工		

※他の附属物（防護柵等）があれば適宜追加する。

4. 計画期間

当該個別施設計画の計画期間は、10年とする。

5. 対策の優先順位（補修計画の方針）

第三者への被害の深刻度、損傷状況、路線の重要性、交通量等を考慮し修繕や交換の優先順位を決定する。

6. 対策費用

- ・計画期間に要する対策費用の概算額や今後の投資計画等は、適宜整理する。

7. 小型構造物と小規模対策工の状態、対策内容、実施時期

7.1 点検結果

- ・ 2021 年までに点検した結果は以下のとおり。

種類	対策不要	要対策
排水工	3 箇所	20 箇所
擁壁工	0 箇所	4 箇所
法面工	3 箇所	18 箇所

※他の附属物（防護柵等）があれば適宜追加する。

7.2 対策内容と実施時期

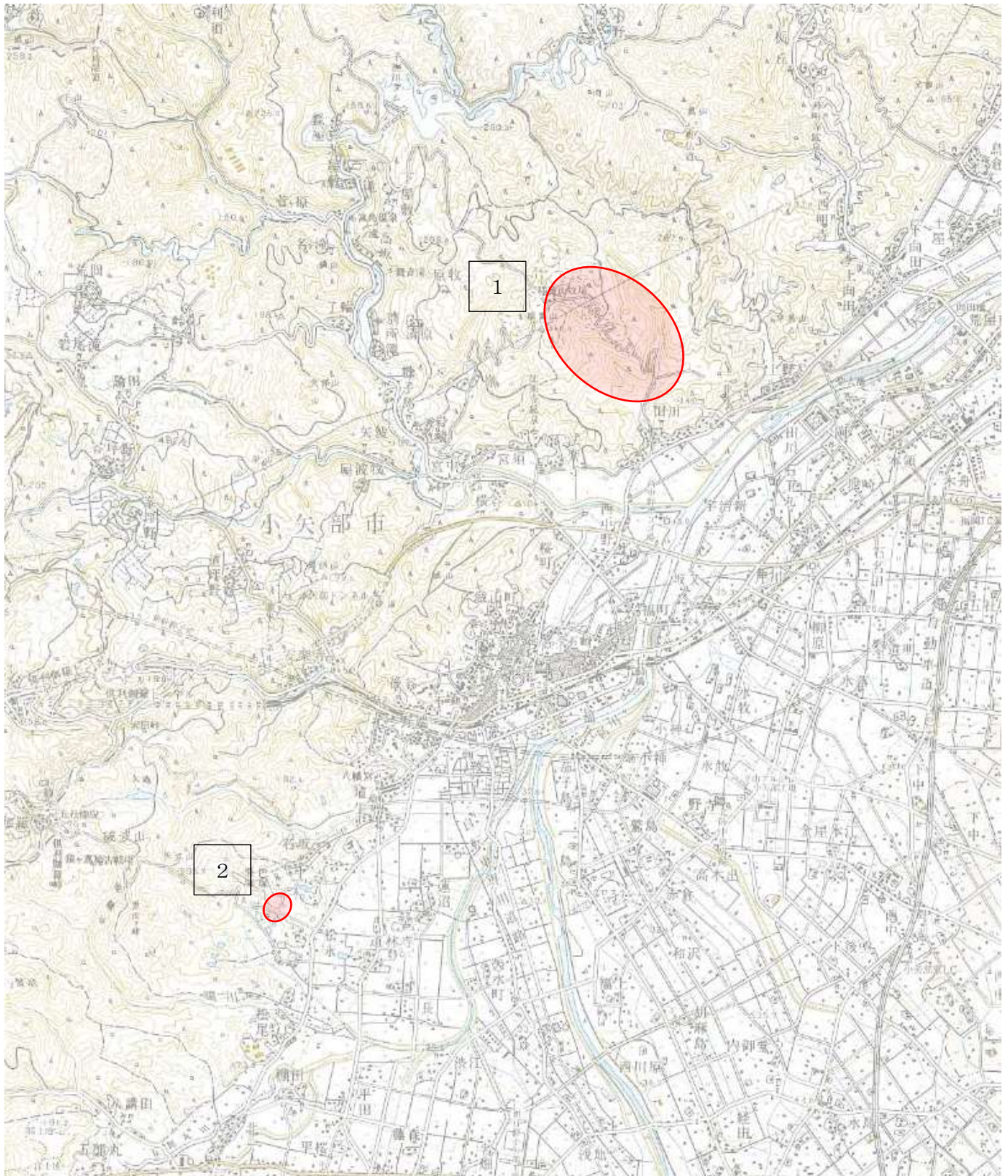
- ・ 別図のとおり。

■措置が必要な箇所一覧。

8. 記録

- ・ 点検及び撤去・更新、交換、廃止等を行った際には、その内容
と実施時期等の履歴を確実に記録し、これを保管する。

■点検実施箇所・対策必要箇所



■措置が必要な箇所一覧

番号	種類	路線名	場所	延長	点検実施時期	対策要否	措置内容	措置実施時期
1	排水擁壁法面	一級市道田川 稲葉下屋敷線	小矢部市 田川地内	L=1,320m	2018年	要	更新	2019年 ～ 2028年
2	排水	一級市道源平 線	小矢部市 蓮沼・石 坂地内	L=150m	2021年	要	更新	2022年 ～ 2031年